

防災対策は最優先の課題

備蓄品の拡充など要求

日本は繰り返し大地震に見舞われているのに、能登半島地震の現状を見ても、これまでの教訓が生かされていません。

3月議会で日本共産党は、①防災備蓄品の目標引き上げ②災害対応業務にあたる職員用の飲料水・食料の十分な確保③マンホールトイレ増設とトイレトレーラー保有④住宅の耐震化促進と耐震シェルター補助⑤災害救助ヘリコプターの共同保有などを求めました。

また、建て替えられる市立柏病院の建設にあたっては、免震構造にすることを求めました。



能登半島地震で君津市が現地に派遣しているトイレトレーラー

共産党

小中一貫校・防災対策・旧そごう取得問題で論戦

問題だらけの超マンモス校

12議員の賛同で予算の修正動議

3月議会には市長提出の新年度予算案に対する修正動議が12人の議員の賛同で提出されました。

市長が提出した予算案には、柏中学校の敷地内に柏中学と第1小学校、旭東小学校を統合して小中一貫の9年制義務教育学校を設置するための予算が含まれていました。



広い運動場のある柏中学校ですが、ここに900人の小学生のための校舎を建て、1400人規模の超マンモス校にする計画です

太田市長が昨年9月議会で突然「令和10年4月開校」の方針を発表したため、「今議会で可決されなければ間に合わない」という理由で盛り込まれた小学校校舎の設計予算は、2024年度と25年度の継続費で合計5億9300万円。

議会開会日に超党派の議員が集まり対応を協議しました。「保護者への説明会が始まったばかりで、あまりにも拙速」「市教委の説明はメリットばかり強調。大規模一貫校は問題が多い」などの意見が出され、「小学校校舎設計予算を削除するという一点で修正動議を提出する」ことで合意しました。賛同する議員は12人まで広がりました。

提出された修正案は柏清風、公明党などの反対多数で否決されましたが、子どもたちにとって問題だらけの超マンモス校に反対する運動は、今後も議会内外で続きます。

まちづくりは市民合意で

旧そごう跡地86億円での取得問題

3月議会には旧そごう跡地取得の補正予算が計上されました。2024年度は10億円、25・26年度で76億円、あわせて86億円の莫大な金額です。「一般財源は極力使わない。基金を活用する」と言いますが、基金等はすべて市民の財産です。しかも、そごう跡地取得後のまちづくりの具体的計画は何も示されていません。徹底して情報を公開し、市民合意を大前提にすべきです。拙速に事業を進めるのではなく、いったん立ち止まることを求めました。



旧そごう跡地は更地にして、スカイプラザと駅前第一ビルを連続的に建て替える、たね地にする」と説明されています

「小川学の当選を無効とする」

議決書

千葉県柏市
審査申立人 矢野 英雄
千葉県柏市
参加人 小川 学

上記審査申立人から、令和5年11月2日に提起された同年8月6日執行の柏市議会議員一般選挙における当選の効力に関する審査の申立てについて、当委員会は次のとおり裁決する。

主 文

令和5年8月6日執行の柏市議会議員一般選挙における当選の効力に関する異議の申出に対し、柏市選挙管理委員会が同年10月13日付けで行った業部の決定を取り消す。
本件選挙における当選人小川学の当選を無効とする。

裁決書全文は下のQRコードで全文を読むことができます。

新年度から実現する共産党の提案

新年度予算では、日本共産党が毎年の予算要望や議会質問で提案し続けてきたことが実現します。

シルバーパス導入めざし実証実験

日本共産党は、コミュニティバスの導入とシルバーパス（高齢者の運賃割引制度）の実現を求めてきました。柏市はシルバーバスの運用方法を検討していますが、新年度は南部地域で運行しているワニバス（旧ジャンボタクシー）で実証実験を行います。75歳以上の免許を持っていない方を対象に200円の運



南部地域を走るワニバス

賃を100円で乗れるシルバーパスを発行します。日本共産党は対象者の拡大と路線バスでの運用をめざします。

近隣センター改修とバリアフリー化

高田近隣センターが改修工事中ですが、新年度から増尾近隣センターの改修が行われます。日本共産党は大規模改修を待たずにエレベーターを設置するよう要求してきましたが、今回未設置の近隣センターでの設置可能性調査を行うことが決まりました。



改修が始まる増尾近隣センター

学校体育館へのエアコン設置

災害時には避難所にもなる小中学校の体育館にエアコンが設置されます。小学校は2024年度、中学校は25年度。自校調理方式の学校給食室にもエアコンが設置されます。